

A・P・ロンドン支局の報道によると英國の反響も頗るよく「三並少將の召還は日本政府が英米兩國の要請を満足させる爲に眞剣な努力を拂つて居る徵候だ」と好感を以て迎へて居る

ニ、ロンドン十六日同盟特派員發

英米軍艦爆撃事件の責任者として海軍航空司令三並少將が現職を罷免されたとの報道は事件處理の正しい第一歩として、英國官邊に好感を與へて居る、但しロイテル通信社外交記者は三並少將の罷免がどの程度に英國の要求に合致するやは不明で政府は日本の正式回答を待つて居ると報道して居る、一方消息通は三並少將の罷免は多とするが、今後引續き陸海軍指揮官に對する日本政府の威令が嚴重に行はれることが必要だと云つて居る

昭和十二年十二月十六日

「パネー」號及英艦砲撃事件ニ對スル各國ノ反響(一)

取扱注意アリタシ

外務省情報部

67

(A) 米 國

一、「バネー」號事件ニ關シ各新聞紙ハ上海、東京、等ノ通信ヲ大々的ニ掲載シテ頗ル「センセーショナル」ニ取扱ヒ居レリ。而モ一方英艦砲撃事件モ報道セラレ二者關聯シテ、相當感情ヲ刺戟セルモノノ如シ

二、然レトモ現地帝國海軍力逸早ク全責任ヲ執ルヘキ旨ヲ聲明シタルコト及東京ニ於テ外務、陸海軍當局力深甚ナル陳謝ヲ表明シタルコトニ對シテハ、大体ニ於テ好感ヲ以テ迎ヘラレタルモノノ如シ

三、米國內ノ「ニュース」トシテハ、大統領力本事件ヲ重大視セルコトヲ特筆シ居レリ。

四、新聞論調ノ主要點ハ日本側ノ陳謝、責任者ノ所罰及將來ノ保障ノ三點ニ集中セラレ居ルカ、同時ニ米國市民及艦船ノ支那引揚ヲ主張スル論多キハ注目スヘキモノナルヘシ。

五、各紙論調（十四日）

(イ) 華府紙

△陳謝シタ以上、對日開戦ノ理由ナシ（「ヘラルド」）

△最高司令官ノ處罰ヲ要求ス（「トリビューン」）
△満足スヘキ保障ヲ與ヘヨ（「ジャーナル・オブ・コンマース」）
△眞ニ陳謝スルナラハ軍部ヲ統制セヨ（「クリスチヤン・サイ
エンス・モニター」）
△保障力問題タ（「ニューヨークサン」及「タイムズ」）
△米國居留民ヲ速カニ引揚クヘシ（「ニューヨーク・ポスト」）
△事件ノ發生ハ歐米諸國ノ不統一ナル行動ニ基ク（「ブルクリ
ン・デーリー・イーグル」）
△米國市民及艦船ノ引揚ニハ反對（「ワールド・テレグラム」）
△何故ニ米國市民ノ引揚ヲ怠ツタカ、國務省ニモ責任アリ。（
「シアトル・スター」）
△日本ノ今後、充分ナル慎重ヲ期待ス（「ポスト」及「インテ
リゲンサー」）

(ロ) 紐 育

- △日本ハ附ケ上ツテ居ル、陳謝ニ満足セス（「スター」）

六、政界ノ議論

△陳謝タケテハ不満足、責任者ヲ處罰セヨ（共和黨「キー・ピホマン」上院外交委員長）

△米國政府カ何等過激ナ行動ニ出ル必要ナ事態存在セス（共和黨「ウイリアム・ボラー」上院外交委員）

△支那駐屯軍ノ速カナ引揚ヲ望ム（農民黨「ヘンリーク・シッブステッド」）

△日本ハ責任ヲ回避スルナ（民主黨「トーマス」上院議員）

△中立ノ主張ヲ實證ス（民主黨「ホーマー・ボーン」上院議員）

△在支權益擁護ニ賛成セス（民主黨「ルイス・シユワレンバツハ」上院議員）

△米國艦隊引揚反對（民主黨「アルベン・バーレー」上院議員）

△事件ノ發生ハ敢エテ驚カス、英國ノ米國ヲ唆カシテ火中ノ栗ヲ拾ハセヨウトシテ居ル手ニ乗ツテハナラヌ（民主黨「ロバート・レイノルズ」上院議員）

△在支兵力ノ撤收カ必要(民主黨「ヘンリー・アスハースト」上院議員)
△對日貿易ヲ完全ニ禁止スヘシ

(共產黨「ハロルド・ナツソン」下院議員)

△極東カラ手ヲ引クヘシトノ主張ヲ正當化スル事實テアル(共和
黨「メルヴィン・マーズ」下院議員)

△今後ノ問題發生ヲ避クルタメニ揚子江ノ軍艦ヲ引揚クヘシ(共
和黨「アーサー・キアツパー」上院議員)

セ「ジョン・デューエイ」,「ロマン・ローラン」,「アルベルト・ア
インシュタイン」及ビ「バートランド・ラッセル」ノ在米四學者
ハ十三日、連名ニテ對日「ボイコット」及ヒ支那援助ノ聲明ヲ發
表セリ

八十三日、平和六團體ハ、中立法發動ヲ要望セル聲明書ヲ發表セリ

(B) 英國

一、英艦砲撃事件ニ關シ、英國新聞ハ頗ル昂奮セルヲ示シ、「タイムズ」ノ如キモ國際面ニ二段又キニテ取扱ヒ稀ニ見ル大々的ナル報道振リナリ。筆致モ甚々辛辣矯激ナリ。而モ「バネー」號事件ト關聯シテ甚々感情的ナルヲ示ス。論說ニ於テハ、特ニ英米共同戰線ヲ強調セルハ注目サル。マタ對日貿易停止論モアリ。

二、新聞論調 (十四日)

△日本無責任ノ好例

△米カ英トノ共同動作ヲノソムナラハ何時テモ、ソレニ應スル用意アリ。

△日本ノ東亞安定勢力タルノ努力ハ歐米人ノ眼カラ見レハ全ク落第タ

△今度ノ事件カ英米ノ提携ヲ強化スル効果ヲ齎シタノハ幸ヒテアル (以上「タイムズ」)

△英米ハ極東問題ニ付キ提携セネハナラヌ (「エクスプレス」)

△對日貿易ヲ即時停止セヨ (「クロニクル」)

△斯クテハ布哇ノ後マテモ徹底スルニ至ルヘシ（「ヘラルド」）
△日本カ進ンテ）遺憾ノ意ヲ表セルハ、日本カ米國ニ友好關係
ヲ願ヒ居ル證左、米國トシテモ日本ノ誠意ヲ拒絶スルコトナ
キハ疑ヒナシ（「トリビューン」）

(E) 亞 國

米國系通信カ比較的穩和ナルニ反シテ英國系通信カ、反目的ナル
亞國新聞論調等ヲ報道シテ、米國ヲ初メ各國ノ對日感情ノ惡化ニ
努メツツアルノ傾向ハ注目スヘシ。

7E

69

昭和十二年十二月十七日

「パネー」號及英艦砲撃事件ニ對スル各國ノ反響 (二)

○取扱注意アリタシ

外務省情報部